



きした 敬 木下けいじ 県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

新しい南房総・安房 郷土に力を



9月県議会一般質問に登壇し、県の行政方針を質す木下敬二議員

適時適切に国に主張 知事表明

南房総市・安房郡特集 9月県議会一般質問

「活力にあふれた、ふるさと南房総市・安房郡」を心に刻んで、木下敬二(きした・けいじ)県議は9月県議会一般質問に登壇し、ふるさと南房総市・安房郡の人々の願いを実現しようと頑張っています。町長として合併前の千倉町を引っ張ってきた識見は、県議会の同僚議員や千葉県幹部にも一目置かれています。

豊かな県南実現のために、木下県議は9月定例県議会一般質問に登壇し、政権交代の嵐の中での知事の政治姿勢を改めて聞いたほか、安房地域の有害鳥獣による被害や耕作放棄地の問題、農作物千産千消の学校給食における課題などについて県の取り組みを質し、ともすれば大都市に向きがちな行政の目を県南に向けさせました。

木下県議の主な質疑を1、2面で特集します。

木下議員 完全無所属で

当選した知事は、全方位のスタイルで政務に努めていると思いますが、政権交代になった今、例えば補正予算の見直し、耕作放棄地の集積に対する補助金カット、八ッ場ダム、高速道路無料化などでの国の考えにはかなりの違いがあると思う。しかしながら、行政の継続という観点から考えれば、国・県市町村とそれぞれが一体的にやらざるを得ないものも数多くある。為政者として、国と県との関係をどのように考えているのか。

知事 国と地方は対等・協力の関係のもと、県民の暮らしを守り、地域の活性化を図るために協力していくことが最も重要なことと

有害鳥獣対策に支援強化を

考えます。

そこで新内閣には国民や地方が混乱することが無いよう、地方の意見を十分に聞いていただくとともに、政策変更にあたっては説明責任を果たすなど、慎重に政策を進めていただきたい。県として、国の動向を常に注視し、国に主張すべきことについては、適時適切に訴えていきます。

木下議員 安房地域の農業が直面している問題の一つが有害鳥獣対策。平成二十年度の安房地域三市一町の有害鳥獣による農作物の被害は、面積百三十八・九ヘクタール、金額で一億二千八百万円に及び、深刻な問題になっている。この数字も市町に届けた数字で、実際にはもっと

木下けいじ県議・PROFILE

略歴

- 昭和23年5月 旧千倉町に生まれる
- 昭和46年3月 日本大学経済学部卒業
- 平成7年3月 千倉町議選に初当選
- 平成13年4月 千倉町長選に出馬、初当選
- 平成19年4月 県議選に出馬、初当選

経歴

- 県議会 総務常任委員会委員長
- 自民党県連 政調会農林水産部会副部長
- 農林水産部会副部長
- 農業土地改良議員連盟
- 水産振興議員研究会
- 会計監査

夢ある南房総市・安房を築きます

県政や南房総市・安房郡のご相談をお寄せください…… 〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1

木下けいじ 県議事務所 TEL.0470 (44) 4111 FAX.0470 (44) 4112

●木下けいじ公式ホームページ=http://kishita.awa.jp/ ●Eメール=kishita@awa.or.jp

安房地域の耕作放棄地

木下議員 担い手不足や有害鳥獣被害などの影響で、耕作放棄地が急増している。安房地域で千五十九畧の耕作放棄地があり、地区内のうち、面積の九・四％に相当する。

農業振興を図る上ではもちろんのこと、観光地としてのイメージ低下、環境問題、社会問題にもなっている。千葉県耕作放棄地対策基本方針により、点在する安房地域の不耕作地がすべて解消できるのか、進捗状況も含めて今後の見通しを。

農林水産部長 安房地域の耕作放棄地のうち、草刈りなどで簡易に再生利用できる農振農用地内の耕作放棄地百七畧の優先的な解消に向け、解消計画の策定、集落での話し合い、所有者に対する意向確認などに取り組んでいます。

中山間地域対策や有害鳥獣対策などと併せた総合的な取り組みにより、耕作放棄地の解消を推進していきます。

木下議員 安房地域では高齢化、担い手不足で今後JA出資型農業生産法人の

役割が大変重要になる。県ではJA出資型農業生産法人の設立にどのような支援をしているのか。

農林水産部長 農業協同組合の出資により設立されるJA出資型農業生産法人は、担い手の不足した地域において、組合員からの農

作業の請負など、地域に密着した新たな担い手として期待されているところだ。円滑に生産活動が展開できるように、農業機械などの導入に要する経費を助成する措置を講じるとともに、農作物の安定生産に向けた栽培技術指導などの支援を行なっています。

JA出資型農業生産法人を支援

手当てのため、農業者の納得のいく価格で供給できず、利用が伸びていないのが現状だ。

本県農業の振興、食糧自給率の向上、千産千消の推進を図るといふ観点から、学校給食における千産千消の割合はどの程度伸びたのか。また、数値向上のためにはどのような方策が検討されてきたのか。

教育長 地場農産物の活用については、県内における米飯給食の実施回数が昨年度の週三・二回から本年度は三・三回に伸びています。また、旬の野菜の使用についても、五月の重量ベースでの使用量は、昨年度67％であったものが、本年度は87％になっています。今後とも、学校給食において地場農産物が積極的に活用されるように努めていきます。

老朽の富浦学園 早急な整備必要

木下議員 県立児童福祉施設のあり方については、平成十九年三月に、千葉県社会福祉審議会から答申が出され、施設整備などが緊急の課題とされている。特に老朽化している富浦学園は知事もすぐに視察をされた。この施設整備検討委員会の検討結果はどのようなものか。

福祉部長 要保護児童の受け入れ態勢については、量と質両面からの拡充が急務であり、富浦学園については、「小敷単位による家庭的な養護体制とするなど、生活の質を向上させるための整備を早急に行なうことが必要」と県立施設として、引き続き運営すべき。情緒障害児短期治療施設の整備を平行して行なうことが必要である」と提言されました。

引き続き半島代行事業

木下議員 現在、南房総市内では、旧丸山町安馬谷地先の市道丸山7号線及び旧和田町五十蔵地先の市道

8号線の二路線が、半島代行事業として道路整備が実施されている。

木下議員 国道410号川谷工区の進捗状況は

南房総市・安房郡特集

豊かな県南を
実現します！

木下けいじ 敬二 県議

半島代行事業は半島振興対策実施地域における基幹的な市町村道で、国土交通大臣が指定する道路の新設及び改築を県が市町村に代わって行なう事業であり、市町村にとっては非常に有益な事業だ。

約〇・九キロの川谷工区の平成二十年度末の進捗状況は、事業費ベースで約26％となっています。

要

望

- (1) 館山自動車道の4車線化が凍結する方向であるという報道があった。南房総地域に住む私たちは、この4車線化に大いに期待をしており、一方的に4車線化事業を凍結することに怒りさえ覚える。知事は地元の声をしっかりと政権に伝えてほしい。
- (2) 有害鳥獣の被害のために耕作放棄地になった土地もあるなど深刻。抜本的な解決策を講じて被害の撲滅を考える必要がある。イノシシなどの被害を災害だと認識すれば、自衛隊の出動をお願いできないか。
- (3) 耕作放棄地を少しでも無くし、農業生産額を上げ、自給率を上げることを県職員一丸となって推進してほしい。